

AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースのお知らせ

開催団体：JRC-ITC(日本蘇生協議会 国際トレーニングセンター)

期 日：平成 20 年 10 月 26 日(日)

時 間：9：00（8：30 受付開始、 14：00 終了予定）

※ 遠距離帰宅者のために時間厳守をお願いいたします。

会 場：中野区 東中野 3-14-20「(株)日本光電 東中野営業所 3階 会議室」

交通機関：(地図参照)地下鉄東西線「落合駅の真上」1階は日産プリンスのビル

受講費：18,000 円（次の銀行口座にお振込みください。）

みずほ銀行 飯田橋支店 普通預金 1440207 メディカルアート

受講定員：12 名（定員になり次第、募集を締め切ります）

※ キャンセルは 2 週間前までにご連絡下さい。

申し込み：別紙の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAX 送信して下さい。

必 要 品：・ポケットマスク（当日会場で購入も可能です。 2,500 円）

・筆記用具（鉛筆、消しゴム、ボールペン）

- ・ 本コース修了者にはアメリカ心臓協会(AHA)から修了証(カード)が発行されます。（修了証発行手続きに 1 ヶ月程かかります）
- ・ 実習が主体のコースですので、動き易い服装・履物をお選び下さい。
- ・ 簡単な筆答試験（選択肢形式）がありますので、本コース受講前に BLS ヘルスケアプロバイダーマニュアル(2005 準拠 日本語版・中山書店)でキーポイントを確認していただけるようお願いいたします。なお、本マニュアルは大きな書店ではどちらでも購入可能ですが、紀伊国屋書店 03-3354-0131 から電話注文でもご購入いただけます。
- ・ 身体に運動制限などがある受講者にも対応いたしますので、事前にお知らせ下さい。
- ・ インストラクターコース受講希望の方も積極的にお知らせ下さい。早期受講のお手伝いをいたします。

E-mail s-takahashi@alto.ocn.ne.jp Fax 03-3332-3105

当日の緊急連絡先：JRC-TC 高橋誠治 080-1028-7077

AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコース申し込み

Fax(Tel から自動切換えになります)03-3332-3105

下記の項目をご記入いただき、上記番号に Fax 送信して下さい。
(他に受講ご希望の方がおられましたらこの用紙をコピーしてお使い下さい。)

期 日：平成 20 年 10 月 26(日)

ポケットマスク：どちらかを○で囲んで下さい。

・会場で当日購入希望

・持参する

ご 氏 名：

(漢字でご記入下さい。)

：

(英文でご記入下さい；例 Seiji TAKAHASHI)

本コース修了者にはアメリカ心臓協会(AHA)から修了証(カード)が発行されますが、ご氏名は英文記載になりますので誤りなく明確にご記入下さい。

ご 職 業：該当項目を○で囲んで下さい。その他の方は具体的にご記入下さい。

・歯科医師 (・博士号取得) ・歯科衛生士 ・その他()

ご 住 所：修了証(カード)が間違いなく届くように明確にご記入下さい。

〒

FAX 番号：

緊急連絡先 Tel 番号：

通信項目：何かございましたらご記入下さい。

(定員超過の場合や特別な変更事項は早急にご連絡を差し上げます。)

Fax (Tel から自動切換え)03-3332-3105 E-mail s-takahashi@alto.ocn.ne.jp

当日の緊急連絡先：JRC-TC 高橋誠治 080-1028-7077

本日のキーポイント

1. 心マッサージ(胸骨圧迫)は
 - ・ スピードは、1分間に100回!
 - ・ 圧迫後は、胸(胸郭)が通常的位置に戻るよう力をかけない
 - ・ 乳児(1歳以下)・小児(思春期まで)の2人法でのみ、心マッサージ15回:2回人工呼吸の比率に変わる
 - ・ 救命率アップには、中断時間を最小にする
2. 呼吸確認と人工呼吸は
 - ・ 頭部後屈あご先挙上による気道確保が常に基本的な前処置となる
 - ・ 胸(胸郭)が上昇すれば、人工呼吸は十分に成功で重要!
 - ・ (胸郭上昇を)見て!、(呼吸時の空気の流れを)聞いて!、感じて!、呼吸確認のサインにする
 - ・ 死戦期のあえぎ呼吸は、気道確保と人工呼吸が必要(呼吸停止と同じ)
3. CPR(心肺蘇生:心マッサージと人工呼吸の組み合わせ)は
 - ・ 開始するタイミングは、意識・呼吸・脈の確認の後
 - ・ 乳児・小児では5サイクル・2分間を救急通報より先に行う
(救助者はあなた1人で、倒れるのを目撃していない場合)
4. AEDの使用について
 - ・ 時間がたつと除細動の成功率が急激に低下する
 - ・ 正しい手順は、電源ON、Pad(電極)を貼る、傷病者から離れてリズム解析、除細動の指示があったら傷病者から離れて除細動する
 - ・ 除細動中に傷病者に触れている人にも、通電の危険がある
 - ・ ショックの適応は無いとの音声指示の後も、直ちに心マッサージからCPRを開始する(Padははがさない、適応ありで通電の後も同様)
 - ・ 成人には成人用のPadとAEDシステムのみを使用する
(小児用の転用は出来ない)
5. 重度の気道異物(窒息)について
 - ・ 意識・反応のある成人・小児には、腹部突き上げ法(ハイムリック法)
 - ・ 上記の傷病者の意識が無くなった時は救急通報の次に、CPRを開始する
(その際、気道確保時に異物が見えれば、人工呼吸の前に除去する)
 - ・ 意識・反応のある乳児(1歳以下)には、5回の背部叩打の次に、5回の胸部圧迫を繰り返し行う

日本光電工業株式会社 東中野事業所 アクセスMAP

